1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年　1 月　16 日発行　　SSKR 通巻第 9686 号

SSKR

にじの会だより　Vol.84

社会福祉法人　にじの会
理事長　石崎　優仁
〒181-0015　東京都三鷹市大沢１－６－３
TEL 0422-39-2411
FAX 0422-39-2412
ホームページ：nijinokai.org

あけましておめでとうございます

社会福祉法人にじの会　理事長　石崎優仁

２０２３年の新年を皆様いかがおむかえになられたでしょうか。

４年目となる新型コロナウィルス感染は、昨年６波７波８波と数カ月ごとに感染が拡大し２カ月位で低下収束するサイクルが継続しています。感染拡大期には感染対策を重点にしながら、低下収束期には社会活動を積極的に進める「with コロナ時代」の施設運営が必要になっているようです。

にじの会でも昨年は４回の施設内感染が発生しましたが、２回目以降は感染範囲の限定と短期間の休業・隔離で収束できるように対応力を向上させてきています。同時に、３年ぶりの利用者旅行の実施と「にじの会まつり」の開催を行い、利用者の社会参加や地域交流を積極的に進めました。今後も、「with コロナ」の施設運営を進めて行く方針です。

世界的にはロシアのウクライナ侵攻などの逆行する動きが発生していますが、基本的には持続可能な共生社会を目指す SDGs の必要性が一層高まっています。地球温暖化対策や災害対策は喫緊の課題であり、各々が責任を持って取り組まねばならないと考えております。にじの会でも、昨年は５事業所に太陽光発電と蓄電池を設置し、非常時の電力確保と再生エネルギー活用を進めています。また、省エネや食品ロス・ゴミの削減、資源リサイクルや緑化活動の拡大等の取組を拡げてきました。今年も、福祉避難所や非常用備蓄等の防災対策を中心に SDG s の取組を進めて行く予定です。

利用者支援の向上の取組も、コロナ禍でも進めてきた ICT を活用した自己表現・自己決定の支援が定着してきており、美術・運動・音楽の専門活動と併せて利用者の理解力とコミュニケーション力の向上が進んできています。今後の利用者の社会参加の拡大に伴い、より有効に ICT の活用を進めて行く予定です。また、コロナ禍で危惧された心身の機能低下についても、積極的な外出等の活動で低下防止や向上を図ってまいります。同時に、利用者等の高齢化対応については介護保険サービス等との連携を進めてまいります。

にじの会の事業運営では、コロナ禍で進んだ研修・会議等の分散・リモート化を定着させていくとともに、２０年間使ってきた業務システムを現状に適合するシステムに移行していく予定で同時に内部連絡・報告のペーパーレス化を図っていきたいと考えています。また、職員の採用や育成・活躍の課題については人事プロジェクトを中心に強化していく予定です。

今年４月には最初の施設「大沢にじの里・未来工房にじ」開所２０周年を迎えます。２０年間の経験と現在の地域の障害者や住民のニーズを踏まえて、にじの会の中期計画「２０３０年のにじの会のあり方」を策定しています。将来のにじの会の姿を想い描きながら、今年は進んでまいりますので、皆様の一層のご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、今年が皆様に幸多き年になりますようお祈り申し上げます。

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年　1 月　 16 日発行　　SSKR 通巻第 9686 号

ウォーク＆スポーツ大会

2020 年度以降、新型コロナウィルスの影響により SUBARU 総合スポーツセンターでの従来の大会ではなく、ウォーキングを中心とした屋外スポーツ大会を開催してきました。本年度は、4 月に開催するウォーキング大会との差別化を図る意味でも、「ウォーク＆スポーツ大会」という名の通り、グループごとに現地でスポーツ・レクリエーションを楽しむことを一番の目的としました。場所は例年同様に野川公園、武蔵野の森公園、神代植物公園の 3 か所に分散させました。当日は爽やかな秋晴れの下、紅葉が鮮やかな公園で事前に計画したスポーツ・レクリエーションを行い、楽しく有意義な時間を過ごしました。

（支援専門運動：髙橋　祥亮）

＊＊

【野川公園】

前身は隣接する国際基督教大学所有のゴルフ場で、広大な芝生が広がり園内には野川が流れています。普段からウォーキングや余暇外出で利用しております。野川公園を利用したのは、大沢のせいびグループ、園芸グループ、にじアートのわっしー工房、わくわく工房、工房創楽、みのり工房です。

＊＊

【武蔵野の森公園】

調布基地跡地利用計画としてできた公園で調布飛行場と東京スタジアムに隣接しています。園内は北地区と南地区に分かれており、2 つの区域を結ぶプロムナード（直線 1 km）では、毎年にじの会ロードレース大会も開催しています。武蔵野の森公園を利用したのは、大沢の未来工房男性グループ、きずな工房、仲・善工房、工房すばるです。

＊＊

【神代植物公園】

都内唯一の植物公園として昭和 36 年に開園し、約 4,800 種の植物が植えられています。神代植物公園を利用したのは大沢の工房えがお・つむぎ、たいよう工房、未来工房女性グループ、にじアートの遊悠工房です。

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年　1 月　 16 日発行　　SSKR 通巻第 9686 号

新型コロナウィルス感染対策・今後のにじの会の取組み

にじの会理事長　石崎優仁

新型コロナウィルス感染は、昨年１１月以降感染者数が増加し第８波の到来となっており１２月には第７波のピークに迫る勢いで、年始からはインフルエンザと合わせた感染流行の可能性があります。

にじの会でも１２月中旬に４回目の施設内感染が発生し、一部事業所で２日間の活動休止と２週間の生活隔離を実施しました。１８名のクラスターでしたが限定した部署と期間で収束できました。

新型コロナウィルスは感染力を強めるように変異しながら継続していくようで、感染拡大の時期と低下収束の時期が繰り返されていくと思われます。感染拡大期には施設内感染防止と短期収束を重点にした運営が必要ですが、低下収束期には社会活動を積極的に進める事が、今後の「with コロナ社会」に於ける施設運営の在り方になると考えております。この方向に向け、感染対策をとりながら社会活動の再開も進めてまいります。皆様のご協力を宜しくお願いいたします。当面、３月末までは以下のような取組といたします。

＜事業運営＞

１．行事予定　①文化行事（３月３日）　三鷹市公会堂で「わらび座公演と利用者発表」
　　②施設家族連絡会（３月２５日）三鷹産業プラザで全体会・生活懇談会実施

２．短期入所　通所利用者と前３日以内陰性確認者に限定した受入れを継続します。

３．就労事業の営業時間　ハーモニーガーデンは火～金は１７時まで・土曜は１９時半まで営業
　　オーソレミオは１７時まで・大沢ハーモニーは１６時半までの営業

４．地域貢献事業　①大沢地区買物送迎支援事業は週３回送迎支援・週１回代行支援を実施
　　②三鷹市内の子ども食堂へのパン・惣菜の無償提供を月１～２回実施

＜PCR 検査等＞

１．一斉 PCR 検査は利用者全員と生活施設職員以外の職員対象に月１回実施します。

２．都の現物支給による生活施設職員の毎週 PCR 検査は支給が継続する期間実施します。

３．抗原検査は発症者・接触者の現場判定と日中施設職員の定期検査・異常時検査で活用します。

＜ワクチン接種＞

１．オミクロン対応コロナワクチンは利用者に５回目（又は４回目）接種を１２月に集団実施

２．インフルエンザワクチンは１１月に利用者・職員全員に集団実施

＜感染予防策＞

１．利用者・職員の予防策の継続　①体調異常時の静養と通院しての検査受検
　　②通所時の時差出勤の励行とマスク着用の徹底
　　③家族等に感染可能性ある場合の通所の自粛

２．行動制限を行う外出先　①マスクを外して他人と接する行動・場所
　　②マスク無しや大声を出す危険がある行動・場所
　　③感染予防策（３密防止・換気・手指消毒）が不十分な場所

３．職員の感染予防策強化　①職員の健康チェックを１日２回実施し、少しでも異常がある場合は早退し通院を徹底します。
　　②感染可能性がある人が発生した場合、本人と濃厚接触者は隔離し抗原・PCR 検査を早急に実施します。

以上のように、手洗い励行・マスク着用・人の間隔確保を徹底し、３密防止と換気を励行することにより感染予防を引続き守りながら、社会活動の再開に取組みますので、宜しくお願いいたします。

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年　1 月　 16 日発行　　SSKR 通巻第 9686 号

クリスマス会

＜大沢にじの里＞

12 月 23 日(金)にクリスマス会を行いました。午前はクリスマスの装飾で館内を飾り、華やかな雰囲気の中でスタートしました。各工房で事前に撮影した音楽発表動画を大型モニターやプロジェクターで鑑賞し、利用者やスタッフが映し出されるたびに拍手喝采が起こっていました。今年は利用者の方が歌って欲しい歌を事前にアンケートを取り、スタッフコーラス隊を結成して歌った動画を流しました。その他スタッフによる「手品」や「エクササイズ」のオリジナルの動画もあり、みなさん一緒に歌って踊ってとても楽しみました。その後、サンタクロースからプレゼントを貰って記念撮影を行いました。昼食はクリスマスメニューを満喫し、午後は工房毎にクリスマスらしい活動を行いました。みなさん楽しそうに参加しました。（大沢にじの里　田中克樹）

＜にじアート＞

12 月 23 日（金）にじアートでクリスマス会を行いました。動画の鑑賞をメインにパーティやカラオケなど工房独自のプログラムでも皆さんそれぞれ楽しんでいる様子でした。朝からサンタの帽子を被り、わくわくしている様子もみられました。昼食にはクリスマスメニューに舌鼓を打ち、午後にはサンタクロースより皆さんそれぞれに手渡しでプレゼントを貰い、とても嬉しそうにプレゼントを開けている様子が印象的でした。（にじアート　大倉生）

＜ハーモニー「おつかれさま会・クリスマス会」＞

12 月 26 日(月)にハーモニーガーデンと大沢ハーモニーの休業日に合わせ、ハーモニー利用者会の主催で「おつかれさま会＆クリスマス会」を開催しました。事前アンケートで「クレープ作り組」と「映画鑑賞組」で参加希望を募り、当日はそれぞれに分かれ、クリスマスソングを流しながら準備・設営を開始し、何人かはクリスマスやお正月の飾りつけを作って、廊下や玄関などに掲示しました。

普段は仕事中心の毎日ですが、この日はのんびりと仲間たちと笑顔で楽しい時間を過せたようです。皆さんが健康で、また笑顔で良い年を迎えられますよう心より願っています。

(ワークショップハーモニー　鈴木美知緒)

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年　1 月　 16 日発行　　SSKR 通巻第 9686 号

にじの会成人式

1 月 6 日（金）に二十歳を迎えた方々とご家族を招いて成人式を開催いたしました。今回は４名の新成人と例年より多い年でした。

おひとりお一人の名前を呼ばれると緊張した表情で返事をされ、マイクに向い抱負を話されていました。また所属工房の皆さんからのお祝い動画を紹介し、スタッフや利用者さんからのメッセージに対して笑顔を見せ、時にはコメントに対して頷く姿もあり注意深く聞いておられる様子が伺えました。

成人を迎え、これからの活躍が期待される素敵な式典でした。二十歳の成人おめでとうございます。

（大沢にじの里　福島章）

第 31 回三鷹市民駅伝

2022 年 11 月 27 日（日）第 31 回三鷹市民駅伝が開催され、一般男子の部に利用者 4 名が出場しました。第一走者：小林龍介さん、第二走者：串田佳輝さん、第三走者：棟渡健吾さん、第四走者：町永敦郎さんでした。2019 年の大会以来、3 年ぶりの出場でしたが、この日のために練習を積み重ね、記録は１時間 1 分 1 秒で一般男子全 82 チーム中で 60 位の成績を収めることができました。温かいご声援をいただき、ありがとうございました。

（支援専門運動：髙橋　祥亮）

ウクライナ　キーウバレエ団
ユリーアさんのバレエ講習

2022 年 6 月から 2023 年 2 月まで毎月、ユリーア先生のバレエ講習を受けました。未来工房、にじアートの利用者を中心に参加しました。音楽だけの静かな環境の中、皆さん先生をしっかりと見て模倣していました。また自然と笑顔になる利用者さんの様子を見て、新たな面を発見したように感じました。ご帰国のため 2 月で終了となりますが、とても良い機会を頂きました。先生、ありがとうございました。

（支援専門運動：田島　多恵子）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

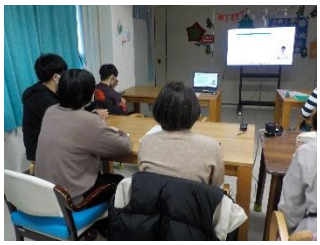
2023 年　1 月　 16 日発行　　SSKR 通巻第 9686 号

11 月 23 日事業所別研修会報告

＜大沢にじの里＞

大沢にじの里では午前に人権擁護意識の向上（人権委員会）・職員向けメンタルヘルス（ストレスとの付き合い方・考え方）を動画講義という形で行いました。

強度行動障害の状態にある方への支援についての動画では「困る人」ではなく、「困っている人」という基本的な考え、また、虐待に繋がりやすい状況でも支援法を学んで「統一した支援」をする事の重要さを共有認識しました。



午後は、生活現場・生活介護研修報告で、日中支援スタッフが入所生活支援現場へ実習という形で、普段日中活動では見られない生活の様子や、生活スタッフの支援を実習体験する事で、見えなかった「支援」に気づき、にじの会全体でサポートできる体勢へと変わるきっかけになったと思います。「その人の生活」を知り、「自分らしい生活の提供とは」のグループワークでは活発に意見を出し合い、利用者さんの「自分らしく豊かな生活」に近づく支援を行っていきます。　（大沢にじの里　白坂　伸）

＜にじアート＞

午前は人権研修として関哉弁護士からの「小さな出来事」についての録画講義を受けました。小さな出来事に気付かずに蓄積してしまうと虐待へと繋がる可能性をスタッフとも確認を行いました。精神障害の方の当事者の声はとても考えさせられる内容でした。

午後は感染症のロールプレイでは主任が居ない状況で感染疑いの利用者が発生した際の初期対応と抗原検査の実施、送迎車の組み換え、各方面への連絡など役割を決めて実施しました。それぞれが求められる動きを確認する事が出来ました。また、クールネット・東京からの節電アドバイス報告を読み返しながら確認を行いました。エアコンの温度を 1℃上下させるだけで 10%の節電効果が得られるなど数値で見える化された節電のポイントをスタッフで共有し、「SDGｓに資する法人運営」の実践をスタッフで確認すると共に節電意識の向上にも繋がりました。　（にじアート　時田秀明）

＜ワークショップハーモニー＞

午後の前半はハーモニー全体で力をつけていきたい精神障害、発達障害をテーマに概略を学習した後、利用者の方への支援を行う際に意識していきたいことや、日頃の見立てなど２グループに分かれて、ディスカッションを行いました。終了後に支援者として見えてきたこと、日常に活かしていける事など共有しました。後半は、「にじの会の虐待防止マニュアル」を皆で読み合わせを行い、一人では深められなかったことや通り過ぎてしまうかもしれないという自身の心持などざっくばらんに話し合うことが出来ました。また、午前に学習した関哉先生の「小さな出来事」が日常に潜んでいることや、改めて自身を振り返る大きな気づきを得る事が出来ました。

支援についてハーモニー全体で話し合える貴重な機会が持てた事、研修後に「もっと学びたい」「もっと皆と話し合いたい」と思う気持ちを共通に持つことが出来た事で、実りの多い研修の時となりました。

（就労移行・定着支援　　川頭　愛）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年　1 月　 16 日発行　　SSKR 通巻第 9686 号

人事制度プロジェクト 職員懇談会報告

＜介護休業編懇談会＞

介護と仕事の両立をしている職員や、これからの介護を見据えている職員を対象に毎年実施しています。事務担当職員による、にじの会就業規則に基づく介護休業制度や福利厚生の説明や情報提供、介護経験のある職員からは、様々な事例や経験談を述べて頂き、安心感に繋げていく取り組みの内容で企画実施しています。
今回も、介護経験者の職員 2 名が、実際の介護や休業取得等の経験談を参加職員に述べて頂きながら、質疑応答を行うパネルディスカッションと参加職員が 2 グループに分かれてのグループワークをメインに行いました。グループワークでは、リアルタイムで介護と仕事の両立をしている職員と未経験の職員が混在する中で、様々な経験談や質問が交わされ、有意義な時間を過ごす事が出来ました。

懇談会終了後に参加職員より、普段中々話す機会の無い介護について、皆で意見を交換したり、考える場がある事が、安心感に繋がるという意見を頂きました。今後も定期的に開催していきたいと思います。

（人事制度プロジェクト担当　吉永はるな）

にじの会 SDG s の取組みの報告

「緑を増やす活動紹介」

＜園芸の緑化活動＞

園芸グループは各事業所の花壇メンテナスだけでなく、大沢コミセンでの園芸ボランティアや牟礼地区にある“花と緑の広場”での園芸活動など、三鷹市内での緑化活動に毎週取り組んでいます。緑化活動を通して親しく声をかけて下さる方もいて、利用者の皆さんも緑化活動に積極的に参加しています。夏や冬など体調管理が必要な時期もありますが、人と緑をつなげていく地域での緑化活動を、これからも続けていけるように支援していきます。

（大沢にじの里　園芸グループ　花井瑞明）

＜大沢原町会の環境協力会＞

施設入所支援事業「大沢にじの里」では、概ね毎月 2 回程（隔週）で大沢地区の原町会環境協力会に参加して、地域の美化・園芸活動に取り組んでいます。「原町会環境協力会（第一支部）」は、天文台通りの天文台正門から裏門までの 350mの緑地周辺において、主に都道内の緑地・歩道等の清掃、除草、低木類の剪定、芝の刈込みなどを沿道の住民の方々と一緒に取り組んでいます。最近では、パンジーの植え込み等にも取り組みました。

利用者の方は思い思いに参加され、季節感を心地良く感じながら、参加されている地域住民の方との交流を楽しまれています。
※原町会環境協力会の支部長として世話人を担当されているのが、当法人評議員会の議長で大沢ガーデン代表取締役の石崎明氏です。

（施設入所支援事業　大沢にじの里　新津健朗）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年　1 月　16 日発行　　SSKR 通巻第 9686 号

2022 年度職員表彰

2022 年度の職員表彰(チーム及び個人)は以下の通りです。

１．研究功労賞

①ケアホームにじの森（山下典孝、黄檗文博、草野昌成、山本光一郎、板橋竜介、河野貴大、山田健慈）
行動障害利用者の他利用者へのこだわり行動の低減

②櫻井詩音スタッフ　　「Go Talk Now」導入・活用を先進的に推進

２．運営功労賞

①旅行担当（山下典孝、時田秀明、保坂啓、杉原利重、對馬純世、中川陽介、杉本広明、千葉洋子、田中広樹）
3 年ぶりの旅行の実施

②定期行事担当
（田中克樹、福島章、羽石敏、内山久子、大倉生、吉野理、櫻井詩音、小野瑛介、林晃史、池山庄平、武内久弥）
3 年ぶりのにじの会まつりの開催

③高橋祥亮スタッフ、林晃史スタッフ、吉永はるなスタッフ、石川由利子スタッフ
他部署への積極的なサポートの実施

④グループホームにじの空（中嶋みゆき、日暮優菜、市川翔子、鎌田あやめ、伊藤詩歩、本橋侑子、吉川雅子）
精神的に不安定な利用者への支援の向上

⑤給食担当（小口香織、横内美代子）
厨房設備の改善による質の向上とコロナ時給食の適切な対応

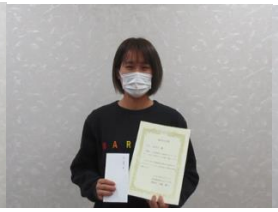
⑥設備担当（金子修、前田健一）
5 事業所への太陽光発電と蓄電池の設置

３．勤続表彰

優秀勤続 20 年表彰　飯野龍二
優秀勤続 15 年表彰　中村久美、小木曽淳
優秀勤続 10 年表彰　我生真二、板橋竜介、米川里恵、櫻井夏代子、及川千夏、倉友園子、杉本広明、長谷川直子、畔上真理子、木村高大
優秀勤続　5 年表彰　赤岩花夏、鎌田あやめ、加藤慎二、瀧上未桜、染谷将希、竹沢真由美、市川翔子、加藤李麻、石原貴子、小川拓郎、瀧上義則、河野貴大、櫻井詩音

研究功労賞
ケアホームにじの森

研究功労賞
櫻井詩音スタッフ


運営功労賞
石川由利子スタッフ

勤続表彰　20 年
飯野龍二スタッフ

『にじの会だより 84 号』　定価　50 円

発行所：特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072　東京都世田谷区祖師谷 3-1-17　ヴェルドゥーラ祖師谷 102 号

TEL:03-6277-9611　FAX:03-6277-9555

編集人：社会福祉法人にじの会

〒181-0015　東京都三鷹市大沢 1-6-3　TEL：0422-39-2411　FAX：0422-39-2412